

## 会議録（要旨）

会議名等	令和7年度第1回吹田市精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム専門部会		文責	障がい福祉室
日 程	令和7年7月23日（水）	場 所	メイシアターレセプションホール	
参 加 者	くらしの支援センターみんなのき/サポートセンターフルハウス/榎坂病院/訪問看護ステーション デューン吹田/サポートいちえ/りあん/大阪大学医学部附属病院/訪問看護ステーション アユース吹田/大阪府福祉部 障がい福祉室 生活基盤推進課 整備グループ/シード/赤レンガ/吹田市民病院/ACT-ひふみ/消防本部 警防救急室/生活支援センターめい/亥子谷障がい者相談支援センター/済生会千里病院/訪問看護ステーション 山胡桃/コミキャンヘルプサービス/片山・岸部障がい者相談支援センター/すいた障がい者就業・生活支援センター/角谷クリニック/千里みおつくしの杜相談支援センター/社会福祉協議会/大阪府立吹田支援学校/岸部こころのクリニック/福祉部 高齢福祉室/福祉部 生活福祉室/福祉部 福祉部総務室/都市計画部 住宅政策室/地域教育部 青少年室/健康医療部 地域保健課/福祉部障がい福祉室 (参加者順不同)			
開会挨拶 （福祉部 障がい福祉室）				
1 令和7年度吹田市精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム専門部会についての報告・・・資料1 （福祉部 障がい福祉室）  吹田市障がい者支援者プラン（第7期吹田市障がい福祉計画）の成果目標や目標達成に向けての取り組みについて確認。また、令和7年度の取り組み予定として、精神科病院入院者への働きかけや地域で暮らす精神障がい者を支える地域づくりを目指していることを報告した。				
2 アディクションのある方への支援について・・・資料2 (健康医療部 地域保健課)  大阪では、大阪アディクションセンターという名称で、大阪府こころの健康総合センターが事務局を担っているネットワークがある。平成26年度から国のモデル事業として始まり、平成29年度から府の独自事業として実施。 大阪アディクションセンターOACは、様々な加盟機関、団体、自助グループが参加している。アルコール、薬物、ギャンブル等、依存の種類を問わずに実施しているのがポイントである。 これまで大阪府主導のもと、北摂圏域で実施されていたが、より身近な圏域で実施するよう助言があり、今年度から吹田市と豊中市が合同で秋頃に実施予定となっている。				
3 地域関係機関における防災の取組報告およびグループワーク  (1) 話題提供① 能登半島地震の経験を通して障がい者支援を考える・・・資料3 (福祉部 高齢福祉室)				

昨年、能登半島地震の被災地である輪島市の復興支援に携わってきた職員の体験を報告。

災害時、元々サービスにつながっている方々の情報は把握できるが、サービスにつながらない方や複雑な課題を抱えている方々への支援ニーズが顕在化する。そのような状態に対して、アウトリーチ支援や生活支援体制整備事業（地域づくり）等の多角的支援の在り方を検討することの必要性を共有した。

（２） 話題提供② 「障がい者児のための防災ハンドブック」について・・・資料４  
（自立支援協議会当事者会）

「障がい者児のための防災ハンドブック」は、吹田市地域自立支援協議会 当事者会で発行された冊子である。障がいの有無に関わらず、日頃より災害の備えをしておくことの重要性を確認。また、この防災ハンドブックが普及することにより、防災意識の向上のきっかけとなることが求められている。

（３） グループワーク／事例検討

健康医療部 地域保健課より提供のあった事例をもとに、グループワークを実施。

「防災ハンドブックの周知や活用方法」、「発災後、事例のケースに対する必要な支援」、「平時に、事例のケースに対して地域でできる支援や地域のあり方（フォーマル・インフォーマルな社会資源の活用等）」について意見交換を行った。

閉会挨拶 （健康医療部 地域保健課）